



トルコ国向け省エネルギーワークショップを開催しました。

1. 開催の背景

トルコは近年経済発展によりエネルギー需要が堅調に増加しています。トルコ政府は、経済発展に必要なエネルギーを環境負荷を抑えながら安定的に供給する為、発電から消費の段階で効率的にエネルギーを使用する省エネルギー推進を優先度の高い政策課題としています。

すでにトルコでは2007年に省エネルギー法が制定されています。ECCJは2000-2005年JICAのプロジェクトタイプ技術協力を通じてトルコ国立省エネルギーセンター（NECC）の設立およびエネルギー管理者の人材育成に協力した経緯があります。

またトルコはビル部門のエネルギー消費が多く、省エネの取組みが積極的に進められています。今回、日本のビル部門の省エネルギー取組みを紹介する目的でワークショップが開催されました。

2. 実施内容

研修期間： 2014年2月4日～2月10日

参加者： エネルギー天然資源省（MENR）政策担当者および関係機関から10名。

(1) 情報共有

- ①トルコのエネルギー需給状況および省エネルギー政策状況

(2) インプット（講義/見学/JASE-W会員企業との交流）

- ① 日本のビル分野における省エネ政策とエネルギー管理体系の紹介
- ② ビル分野における最新省エネ技術・事例の紹介
- ③ 最新熱供給設備、省エネルギー優秀ビル見学
- ④ 設計事務所・設備メーカーと情報・意見交換

(3) アウトプット（研修後の提言）

- ①トルコでの省エネビルの導入・普及の為の問題点と対策
- ② 日本とトルコの今後の省エネ協力計画立案の検討



研修生および ECCJ 関係者 集合写真

東京都庁ビル 屋上における研修風景

研修生は研修内容を自国での政策展開の参考にしたい、またトルコの省エネルギー政策展開に関しては今後も引き続き日本の協力を求めたいと語っていた。

研修最終日の議論に基き、今後についてはお互いに協力可能なテーマ等を継続検討していく事とし、成功裏にワークショップは完了した。

以上